

真の意味で 臨床の場で役立つ 個に応じた教育を重視

宝塚医療大学(仮称) 副学長(就任予定) 西條一止
取材・文／堀水潤 撮影／中岡邦夫



【副学長プロフィール】1938年生まれ。東京教育大学教育学部理療科教員養成施設卒業。同施設助手、筑波大学助教授、筑波技術短期大学学長、新宿鍼灸柔整専門学校校長、日本伝統医療科学大学院大学学長などを歴任。医学博士。

【大学プロフィール】2011年開学を目指す4年制大学。保健医療学部には理学療法学科と伝統医療学科(柔道整復学、鍼灸学専攻コース)を持つ。運営は柔道整復および鍼灸の業界団体が設立し複数の医療系専門学校を持つ学校法人平成医療学園。

理学療法士は近代医学における、また柔道整復師・鍼灸師は日本・東洋の伝統医療における物理療法の担い手です。2011年度に開学を目指す宝塚医療大学(仮称)は、両者を保健医療学部というくくりの中で教育しながら、新しい視点をもつ物理療法のセラピストとして養成する4年制大学です。

理学療法が医療保険制度の枠内にあるのに対して、後者はやや立場が異なります。伝統的な医療として支持されながらも柔道整復や鍼灸は一般に広く浸透しているとは言いきれません。しかし鍼灸には病気になる兆し(未病)を捉えて改善するという、「治療」とは異なる役割があります。これは高齢化対策や生活習慣病予防という点で重要なこととです。また町の身近な治療家である柔道整復師は相談に多くの時間を割くなど、病院とは違う役割も果たしています。こうした伝統医療をどうすれば現代に生かせるか。将来像や社会貢献の姿を若者にどう提示できるかが業界の大きな課題となっています。

柔道整復師・鍼灸師団体の尽力により設立された学校法人平成医療学園は、産学連携のもとで専門学校を運営してきました。このたび大学の新設をめ

ざすのも業界の抱える課題を解決したから。本格的な学問環境を整備し、有資格者の養成だけではなく、資格者を社会で活かす仕組みづくりをも目指します。70歳を過ぎた私が新たな挑戦を始めるのもその使命に強く賛同したからにほかなりません。

具体的には「個に応じた教育」を重視します。そこを疎かにして真の意味で臨床の場で役立つ人間は育ちません。高校までの学習状況や性質を見極め、個々の学生に応じた修学計画をじっくり立てることで意欲的に学習に取り組める状況をつくります。特に1年次を重視し、少人数教育や補習の徹底など手厚い指導体制によって基礎をしっかりつくります。このような特色ある教育プログラムや教育・研究環境の構築に、1年間を費やす予定です。

本学で育てるのは心身にダメージを受けた患者さんと直接対面するセラピストです。大切なのは患者さんを安心させること。それには専門的な治療技術はもちろん、人間形成、人格形成が欠かせません。そのため、人に、周囲に、社会に深い関心を持てる人間を育みたい。人を世話することに喜びを感じられる人間になってほしいのです。